

科目名 (科目番号)	臨床医学概論 (051211)	教員名 大越 教夫	学科等	診療放射線	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		前期月5水5 後期月5水3	B309研究室	
授業概要	本講義では、病理学で学んだ疾病の基礎知識に加え、標準的な治療から最新の臨床知見をも学ぶことで、さまざまな疾病の理解を深め、医療スタッフとしても、将来、診療・研究などの現場において必要な医学的知識を習得することを目標とする。具体的には以下の事柄について学ぶ。①疾病総論、②疾病各論（脳・中枢神経系、呼吸器系、循環器系、消化器系、肝胆膵系、腎泌尿器系、内分泌・骨代謝系、代謝系、血液・造血器系、感染症、免疫・アレルギーなど）。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	総論(1) 問診・身体所見	到達目標:臨床診断における症状や徴候の重要性を理解する。 学習内容:問診・身体所見から診断に至る過程及び症状や徴候について学習する。				
	2	各論(1) 循環器疾患	到達目標:循環器の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:心臓、大動脈、末梢血管の疾患について学習する。				
	3	各論(2) 腎泌尿器疾患	到達目標:腎泌尿器の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:腎、尿路、体液異常の疾患について学習する。				
	4	各論(3) 呼吸器疾患	到達目標:呼吸器の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:肺、気管支、上気道、胸膜の疾患について学習する。				
	5	各論(4) 消化器疾患	到達目標:消化器の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:食道、胃十二指腸、小腸・大腸の疾患について学習する。				
	6	各論(5) 肝胆膵疾患	到達目標:肝胆膵の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:肝胆膵、腹膜の疾患について学習する。				
	7	各論(6) 代謝疾患	到達目標:代謝性の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:糖尿病、脂質異常症、痛風など代謝性疾患について学習する。				
	8	各論(7) 内分泌・骨疾患	到達目標:内分泌・骨の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:間脳・下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎の疾患について学習する。				
	9	各論(8) 感染症	到達目標:感染症の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:感染症の疾患について学習する。				
	10	各論(9) 免疫・アレルギー疾患	到達目標:免疫・アレルギーの主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:自己免疫・アレルギーの疾患について学習する。				
	11	各論(10) 血液疾患	到達目標:血液の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:血液・リンパ系の疾患について学習する。				
	12	各論(11) 脳神経疾患	到達目標:脳神経の主要な疾患を理解し説明できる。 学習内容:脳・脊髄・末梢神経・筋の疾患について学習する。				
	13	各論(12) 内科以外の疾患	到達目標:産婦人科・耳鼻科・眼科疾患等の主要な疾患を理解する。 学習内容:産婦人科・耳鼻科・眼科疾患等の主要な疾患・病態を学習する。				
	14	総論(2) 処置・治療・まとめ	到達目標:POS、POMR、治療計画について理解する。 学習内容:処置・治療の一般及びPOS式カルテの書き方について学習する。				
15	総論(3) 手洗い学習・模擬症例演習	到達目標:手洗いを含む標準予防策を理解し実施できる。POS式カルテ記入法を理解する。 学習内容:手洗い等の標準予防策及び模擬症例について体験学習する。					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	『内科学』(第6版)2017		北村諭編集		中外医学社		
参考図書							
教員からのメッセージ	臨床医学、特に内科学を中心に、病態、疾病及び障害の基礎を学ぶ。教科書およびプリントによる予習・復習を必ず行うこと。また、各臓器別の病態について解剖学、生理学、病理学、生化学など基礎医学の知識の確認を復習として行うこと。						